

響ホール・国際村交流センター共用部大規模改修事業 について（パブリックコメントの実施）

響ホールや生涯学習センター等からなる複合施設である国際村交流センターは、建築後30年以上が経過し、全館にわたり老朽化等が進んでいることから、利用者の安全を確保し、施設を適切に維持していくための大規模改修を計画している。

については、北九州市公共事業評価システム要綱に基づき、市民意見の募集（パブリックコメント）を実施するもの。

1 事業概要

国際村交流センター全体の屋上と外壁の防水改修、共用設備の更新を行うとともに、響ホールの特定天井の改修、バリアフリー化等を内容とする大規模改修を実施する。

（1）主な改修内容

【国際村交流センター全体及び共用設備】

ア 屋上防水改修

雨漏り・漏水を防ぐため、屋上緑化の撤去及び老朽化した防水層等の全面改修

イ 外壁改修

雨漏り・漏水を防ぐため、劣化したカーテンウォールの更新等

ウ 電気設備改修

耐用年数を超えた高圧受変電設備等の一部更新

【響ホール】

エ 天井・舞台設備改修

響ホールの吊り天井の耐震化工事、耐用年数を超えた舞台設備の一部更新

オ バリアフリー対応等

施設内トイレの更新、階段への手すりの設置、エレベータの更新

カ 空調設備改修

耐用年数を超えた空調熱源設備等の一部更新

（2）事業費（予定）

約25.6億円

（国庫支出金：約0.4億円、地方債：約16.8億円、一般：約8.4億円）

(3) スケジュール

令和7年度	公共事業評価事前評価2
令和8年度	実施設計
令和9～10年度	改修工事

2 市民意見募集（パブリックコメント）について

(1) 意見募集期間

令和7年12月24日（水）～令和8年1月23日（金） 1か月間

(2) 意見提出方法

- ・書面提出（窓口：都市ブランド創造局文化企画課、総務市民局広聴課、区役所、出張所、響ホール）
- ・郵便
- ・ファクシミリ
- ・電子メール

■国際村交流センターの概要

開設	平成5年7月
施設規模	延床面積 17,860.09m ² 鉄骨鉄筋コンクリート造(地上4階・地下1階)
構成施設	<ul style="list-style-type: none"> ・響ホール 3589.42m² ・八幡東生涯学習センター 1874.81m² ・アジアカーボンニュートラルセンター 924.87m² ・資源循環センター 9404.40m² ・駐車場 2066.59m² ・ほか共用部等



	施設名	北九州市立響ホール		
	諸室概要	大ホール 1,115m ² (シーボックス型／1階:384席、2階:336席)	720名収容	
		リハーサル室 173m ²	約100名収容	
		研修室 54m ²	約10名収容	
		第1練習室 63m ²	約20名収容	
		第2練習室 50m ²	約15名収容	
	控室 5室			
	管理運営	指定管理者:(公財)北九州市芸術文化振興財団		
	特長	<ul style="list-style-type: none"> ・音響の良さを追求した音楽専用ホール ・残響時間は約1.8秒(満席時) 		

■改修事業の必要性

- ・響ホールは、北九州市内唯一の音楽専用ホールで、音響の良さは著名な演奏家からも高く評価されており、毎年、世界的な音楽家を招いた公演が開催されるなど、質の高い音楽を通して文化・芸術に触れる機会を市民に提供している。
- ・そのため、「北九州市公共施設マネジメント実行計画」においても、響ホールを音楽の専用施設として中核拠点施設に位置付け、建物の長寿命化を図り、維持・存続していくこととしている。
- ・また、響ホールのほかにも八幡東生涯学習センターなど、多くの市民に利用されている施設が併設されている。
- ・しかしながら、築30年が経過し、雨漏りの発生や設備の耐用年数超過など、経年による不具合が発生。施設の利用を制限せざるを得ないリスクが高まるとともに、長期的には建物の耐久性に影響を及ぼす恐れがある。



利用者の安全を確保し、施設を適切に維持していくため、早急な改修が必要

■施設老朽化の状況

外壁に多くのひび割れが発生



湧き水が壁から染み出てきて、コンクリートが剥離



雨漏りが複数箇所で発生

